



校長から宗高・宗中のみなさんへⅡ ④

令和3年3月26日（金）

「新年度のスタートに向けて」

先週金曜日に開会した「第93回選抜高等学校野球大会」につづき、今日26日は、2021（令和3）年度セ・パ両リーグのプロ野球開幕の日です。福岡の桜も今週月曜日には、史上最速タイで満開を迎え、「球春到来」とともにまさに春本番を迎えました。本校の正門の桜も今を盛りに咲き誇っています。

3月初めからの臨時休校中には週2回、学校再開後は週1回金曜日に学校ホームページに配信してきた「校長から宗高・宗中のみなさんへⅠ・Ⅱ」は、今日で通算51号（臨時休校中のⅠが11号、学校再開後のⅡが40号）になりました。

新型コロナウイルス禍にあって、精神的にきつい状況にある中、がんばっているみなさんへの細やかなエールとして、また、みなさんと一緒に考えたいことや折々に私が感じたこと、みなさんと共有したいこと等を、私の拙い文章で綴ってきました。読んでくださったみなさんにとって、少しでも考えたり、話したりするきっかけにさせていただけたならば、こんなに嬉しいことはありません！ これまで読んでくださったみなさん、本当にありがとうございました！

思い起こせば、昨年度末3月初めに新型コロナウイルス感染拡大による「緊急事態宣言」が発出され、学校は令和元年度末から令和2年度初めにかけて約3ヶ月の臨時休校となりました。臨時休校中は、Zoomによるホームルームやオンラインでの授業を実施しました。学校再開後も、「3密」を避けた活動や検温・消毒を余儀なくされるなど、これまで誰も経験したことのない学校生活が始まりました。約3ヶ月間の臨時休業によって失われた授業時間を確保するため、中学校、高校共に長期休業の短縮、高校では7時間授業の増加、中学校では考査日程の短縮や土曜授業の実施をしなければなりません。また、感染防止の観点から、鳳雛祭や体育祭、修学旅行をはじめ、毎年恒例の学校行事のほとんどが中止あるいは縮小、別形態で実施せざるを得ませんでした。

高校の卒業式の卒業生代表の答辞での「何もかもが奪われた1年でした。」という言葉は、この1年間のみなさんの偽らざる気持ちのすべてが集約された、私たちの心に刺さる重い言葉だったと思います。みなさんが、この1年感じてきた様々な気持ちは、想像を遥かに超えたどれだけ複雑なものであったとか、改めて深く考えさせられました。

しかし、この1年、宗高・宗中のみなさんと共にすごってきて、みなさんの前向きな姿勢、柔軟な対応力、置かれた状況の中で最大限充実させようという姿、そしてそのための様々な工夫には、いつも感心させられました。そんな宗高・宗中のみなさんは、私と先生方の「誇り」であり、みなさんの奥深い豊かなポテンシャルを確信するものでした。

過酷な1年ではありましたが、そこからまたいろいろな「気づき」や「発見」もありました。新型コロナウイルス感染拡大前の何ごともなかった日常では「当たり前」だと思って気にも留めなかったようなことが、実は決して「当たり前」なのではなく貴重なもの、奇跡的なものであったのかもしれないという「気づき」は、私たちの生き方やあり方について深く考えるきっかけになったと思います。また、色々なことが例年通りにやれなくなったことで、これまでは何も考えずにルーティンでやっていたことも「こういうやり方でも全然問題ないよなあ」とか「こんなやり方でいいじゃない!？」という新たな発見があったことは大きな収穫でした。新型コロナウイルスについては、変異種やリバウンドも懸念され、まだまだ気を緩めることは決してできませんが、この新型コロナウイルス禍は、経済や私たちの生活に深刻な影響をもたらした一方で、これまでの私たちの生き方やあり方を否応なく見つめ直し、これまでとは全く異なる新たなライフスタイルや働き方を確立する大きなターニングポイントになったとも言えるのではないのでしょうか。吉野家ホールディングスの安部修二 会長の言葉のように、生活様式とか生活観念が大きく変われば変わるほど、そこにチャンスが生まれ、そのチャンスに何を課題に据えてチャレンジするか!? チェンジはチャンスを生み、そのチャンスはチャレンジをもって享受することができるのです。 誤解を恐れずに言うならば、そういう意味では、この新型コロナウイルス禍の今は、きっとよい時代なのかもしれません。まさに「ピンチをチャンスに!」ですね。

宗高・宗中もこの1年の様々な経験を活かして、新年度も「チェンジ・チャンス・チャレンジ」の精

神で、大きな飛躍に向かって進んでいきます。新年度のスローガンは、「アグレッシブ ー攻めるー」です。何事にも失敗を恐れず、新しいことに積極果敢に「チャレンジ」し、ブレイクスルーしていきます！

「明るく、楽しく、いきいきと。」宗高・宗中のみなさんも、先生方もワクワクするようなことをどんどんやっています。さあ、1週間後の新年度のスタートに向けて元気に前を向いて進んでいきましょう！

校長 深瀬 信也